

人工哺育によって育てられた Upali 【Upali the bottle-fed baby】

http://www.upali.ch/upali_en.html



Upali（オスゾウ）の誕生

Upali は、Ceyla の 3 番目の子ゾウとして、1994 年 11 月 14 日、午前 3 時 15 分に生まれた。姉ゾウは、Komali と Panang で、Upali の在胎期間は 662 日であった。

なぜ、Upali は、母乳を少しも飲もうとしなかったか？

Upali は、生まれて 2 週後に、Ceyla の乳を飲まなくなり、ますます落ち込んで（自閉的になり）、自分の鼻を吸うようになった。

Upali の鼻に膿瘍ができるほど、Upali は自分の鼻をひどく吸った。ますます Upali の体重は減少し、（立ったまま）居眠りをし始めた。Upali は、横臥して寝るための十分な体力すらもなかった。

我々が、母ゾウ（Ceyla）に水を与える際に、Upali は、どん欲に水を飲み始めることが顕著になった。しかし、Upali が Ceyla の母乳を飲もうとする努力は、だんだん少なくなった。母ゾウ（Ceyla）は、自分の子ゾウが乳を吸う際に、子ゾウを邪魔する妙な癖があった。Upali が、乳を吸おうとするたびごとに、Ceyla は、自分の肘で Upali を邪魔した。Komali と Panang（Upali の姉）が子ゾウだった時に、彼女たちは、母親（Ceyla）の蹴りによる痛みを眼を閉じて耐えながら、母乳を飲み続けた。しかし、Upali は、Ceyla の乳房か

ら乳を吸うことをやめてあきらめた。

Upali の弟である Xian と Aishu もまた、この嫌がらせで確かに苦しんだ。しかし、彼らは、どうにか彼らなりのやり方を獲得し、十分に母乳を飲むことができた。4 頭のゾウが写ったモノクロ写真（左下）において、彼の大きな姉の Komali と叔母の Druk の間に、痩せこけた小さな Upali が写っている。一番左端が、母ゾウの Ceyla である。



どのようにして、Upali を救うことができたか？

ルーディ・タナー（原著者のゾウの師匠）の指導の元に、我々は、哺乳瓶で Upali を育てることを（人工哺育することを）1994 年 12 月 24 日に決めた。ルーディ・タナーは、すでに、Upali の母親の Ceyla を人工哺育によって育てた経験を持っていた。しかし、お茶、米をドロドロにしたもの、乳脂（クリーム）を混ぜて作ったミルクは、Upali に好ましい結果を示さないようであった。そのミルクは、何度も、ひどい下痢を招いた。我々は、いろいろなものを混合したミルクを試した。

それで、好ましい（正しい）ミルクはどのミルクだったか？

子牛の哺育用ミルク（子牛用の粉乳）を Upali に試した時だけが、本当にうまくいった。

Upali が、このミルクに慣れた後に、Upali は、嬉しそうにミルクを飲み始め、Upali の体重は、ゆっくりと、しかし、着実に増え始めた。我々は、2 リットルの哺乳瓶を使っていたが、Upali は、時間をかけずに飲み干した。昼間は、2 時間おきに 2 リットルのミルクを飲んだ。

我々は、夜中にミルクを与えなかったので、1 日の最初の朝と最後の夕方に、我々は、Upali の空腹を完全に満たすように努力して哺乳させた（1 日の最初と最後の授乳はしっかりと行った）。

したがって、Upali は、1 日に約 15 リットルのミルクを飲んだ。

Upali は、母親（Ceyla）と一緒に居たか？

（飼育係が、Upali を人工哺育していたけれども）Upali は、総ての時間を母ゾウとゾウの群れと共に過ごした。なぜなら、Upali は、普通の子ゾウとして群れに残るべきであったし、我々飼育係たちによる擦り込み（インプリンティング）をされるべきではなかった。我々は、Upali が、問題なくゾウの階級組織の中で成長して欲しかったし、後に社交的な（社会生活を営む）オスゾウに発育して欲しかったので、彼をゾウの群れの中に残しておいたことは、彼の素晴らしい社交性の発達（成長）のために、最も重要なことだった。



どうして、Upali は、チューリッヒ動物園から出なければならなかったか？

オスゾウの Maxie（Upali の父親）の元の飼い主であるロジャー・クロウリーと、チューリッヒ動物園との間の契約事項に、最初に生まれたオスの子ゾウは、ロジャー・クロウリーに所有権があるという契約があった。

ロジャー・クロウリーは、この契約事項を忘れていなかったもので、我々は悲しんだ（失望・落胆した）。Upali が1歳にもならないうちに、ロジャー・クロウリーが、来園し契約の遂行を主張した。我々は、できる限り長い間、さまざまな反対する理由をあげて、契約遂行を延期するように努力した。

Upali は、イギリスで好評だったか？

それから、Upali が2歳半の1997年5月14日に、ついに契約遂行の時がきた。ロジャー・クロウリーは、チェスター動物園に Upali を売り渡したので、Upali は、イギリスに

向けて旅立った。

後になってから、オスゾウにとって素晴らしい（快適な）動物園を見つけ出すことが簡単なことではない（Zoo born elephants の章を参照）ということが解ったので、イギリスへ Upali が移動したことは、幸運だったと知った。

チェスター市の人々、チェスター動物園とゾウの飼育係たちは、チューリッヒ動物園から子ゾウを受け取って、とても喜んでいた。

Upali は、チェスター動物園で暮らすことに慣れたか？

現在、Upali は、チェスター動物園において、彼にとっては新しいゾウの群れに完全にとけこんだ。そして、Upali による新しい繁殖プログラムが、準備されつつある。

チェスター動物園で、2006年11月12日に、Upali の子ゾウ（Sithami）が生まれたので、Upali は、初めてお父さんになった。

これらの写真は、チェスター動物園における Upali と Sithami である。

